

## 要 旨

試験委託者 環境省

表 題 ベンザルアセトンのヒメダカ(*Oryzias latipes*)に対する急性毒性試験

試験番号 No. 2005-生110

### 試験法ガイドライン

本試験は厚生労働省医薬食品局長、経済産業省製造産業局長、環境省総合環境政策局長連名通知「新規化学物質等に係る試験の方法について」(薬食発第 1121002 号、平成15・11・13 製局第 2 号、環境企発第 031121002 号、平成 15 年 11 月 21 日、平成 17 年 4 月 1 日最終改訂)に準拠して実施した。

- |              |   |
|--------------|---|
| 1)被験物質       | : ベンザルアセトン  |
| 2)暴露方式       | : 半止水式 (24 時間毎に試験溶液の全量を交換)                        |
| 3)供試生物       | : ヒメダカ( <i>Oryzias latipes</i> )                  |
| 4)暴露期間       | : 96 時間   |
| 5)試験濃度 (設定値) | : 対照区, 1.0, 1.8, 3.2, 5.6, 10, 18 mg/L<br>公比; 1.8 |
| 6)試験溶液量      | : 3 L/容器  |
| 7)連数         | : 1 容器/試験区  |
| 8)供試生物数      | : 10 尾/試験区  |
| 9)試験温度       | : 24±1 °C   |
| 10)照明        | : 室内光、16 時間明/8 時間暗                                |
| 11)給餌        | : 無給餌   |
| 12)通気        | : なし  |
| 13) pH       | : 試験溶液の pH調整は行わない                                 |
| 14)分析法       | : HPLC 法  |

## 結 果

### 1) 試験溶液中の被験物質濃度

被験物質濃度の変動は一部に分析誤差も考えられるものの、揮散と光分解による影響が変動の主因と判断し、各測定値の時間加重平均値(暴露開始時と 24 時間換水前および 72 時間換水後と暴露終了時の対数平均値を算出し、それらの算術平均値)を求め、各影響濃度を算出した。

### 2) 50 %死亡濃度

24 時間 50 %死亡濃度(LC<sub>50</sub>): 11 mg/L(95 %信頼限界: 9.1 ~ 21 mg/L), Logit

48 時間 50 %死亡濃度(LC<sub>50</sub>): 7.5 mg/L(95 %信頼限界: 5.6 ~ 10 mg/L), Logit

72 時間 50 %死亡濃度(LC<sub>50</sub>): 5.7 mg/L(95 %信頼限界: 4.7 ~ 13 mg/L), Logit

96 時間 50 %死亡濃度(LC<sub>50</sub>): 5.7 mg/L(95 %信頼限界: 4.7 ~ 13 mg/L), Logit